

(2)遠野へのファムトリップの概要

①ファムトリップの日程と主なプログラム

◆9月28日(月)

- 1) 遠野伝承園でのオリエンテーション(16:30~17:30)

【プログラム】

- 1 おしら堂~板倉 案内
- 2 平倉神楽 鑑賞
- 3 ウェルカムスピーチ(遠野副市長)
- 4 農家民泊の過ごし方(ふるさと山里ネット 菊池会長)
- 5 受け入れ農家 対面式 → 受け入れ農家へ移動

- 2) 遠野市内の農家民宿に分かれて宿泊体験

■農家民宿

- ・素づくり亭 ・みずき ・大森家
- ・山田家 ・吉田家 以上5か所(5グループ)

(体験プログラム)

- ・各農家民宿での夕食(家庭料理)
- ・宿泊体験

◆9月29日(火)

- 1) 宿泊先農家民宿での各種体験プログラム

- ・朝食(家庭料理)
- ・体験アクティビティ(農業体験、散策、昼食づくり体験)
- ・昼食(そば打ちや郷土料理作り体験)

- 2) 意見交換会(遠野グローバルプラザ)



遠野副市長 ウェルカムスピーチ



平倉神楽 鑑賞

【各グループの体験プログラム】

1) 素づくり亭

(海外バイヤー9名：中国3名、フィリピン2名、タイ2名、マレーシア1名、韓国1名)

(夕食) 家庭料理
(朝食) 家庭料理
(体験アクティビティ)

- ・農作業体験
- ・近隣散策
- ・昼食作り



2) みずき

(海外バイヤー5名：中国2名、台湾1名、タイ1名、インドネシア1名)

(夕食) 家庭料理
(朝食) 家庭料理
(体験アクティビティ)

- ・畑での野菜収穫体験
- ・薪割り体験
- ・釜炊き
- ・藁細工作り
- ・藁縄跳び
- ・周辺散歩

(昼食) 家庭料理 (日本そば等)



3) 大森家

(海外バイヤー6名：アメリカ1名、カナダ1名、マレーシア1名、ブラジル1名、オーストラリア1名、ロシア1名)

(夕食) 家庭料理

(朝食) 家庭料理

(体験アクティビティ)

・ 散策 (神社、農家、農道)

・ 稲刈り体験

・ 郷土料理づくり・昼食

(ひつつみ汁、味噌おにぎり)



4) 山田家

(海外バイヤー6名：中国3名、カナダ2名、アメリカ1名)

(夕食) 家庭料理

(朝食) 家庭料理

(体験アクティビティ)

- ・ 周辺散策
- ・ 栗の実広い体験
- ・ 畑の見学

(昼食)

おにぎり、おしんこ、フルーツ

(なし・りんご)



5) 吉田家

(海外バイヤー4名：フィリピン2名、カナダ1名、スペイン1名)

(夕食) 家庭料理

(朝食) 家庭料理

(体験アクティビティ)

- ・ 農業体験
- ・ 散策

(昼食)



【意見交換会の実施】(9月29日(火)、遠野グローバルプラザ)

(プログラム)

- 1 参加者各家庭での体験内容の発表
- 2 グリーン・ツーリズムに関する商品化の意見、感想発表
- 3 遠野山里ネット 菊池会長 あいさつ
- 4 農林水産省 志田課長補佐 あいさつ
- 5 質疑応答、アンケート記入



参加者による体験内容発表



農水省・志田補佐あいさつ

【バイヤーからの感想 ～商品化に向けた検討・意見～】

(素づくり亭)

- 遠野の景色、ホスピタリティ、食事の美味しさに好評があった。
- プライバシーを重んじるスペインでは相部屋という時点で薦め辛いという意見があった。
- アクセスが不便なので、長期、リゾート感覚で数日間滞在するプランとして提案したい。
- 留学生向けに体験ステイとして薦めたい。
- 「心で通じる」と言ってもあまり通じないとリラックスしたくて行ったのにストレスになる。英語、中国語ができる方の駐在は必要だと思う。指さし会話帳の様なものがあると便利。初めての民泊者用にマナーなどで恥をかかないように How to 冊子を事前に配布できると尚良い (添乗ガイド意見)。
- ハード面では、お風呂が一つしかない (家庭用のお風呂なので1回に1人しか入れない)、Wi-Fi がない、コンビニや商店がないことが不便だった
- アトラクション「神楽」について、30分は長すぎる。外国人に見せるなら、椅子利用でないと辛いという意見があった。詳しい説明 (解説) も欲しかった。

(みずき)

- 中国、台湾、タイではグリーン・ツーリズムはあまり求められていない様子。
(自国でも農業は盛んなため)
- インドネシアのバイヤーからは、1泊2食 6,800円は安すぎるとの感想。
体験した施設について自分で予約を取る場合、海外からは難しい。多言語表記や海外から容

易にアクセスが可能なホームページ等を整備してほしいという意見をもらった。

- 体験アクティビティは大人も子どもも楽しめそうだとされた。
- 受け入れ家族との交流が印象に残ったと話していた。

(大森家)

- 農家民宿までの交通手段や費用についての質問が多かった
- 近隣の散策やリラックスできる時間を求められた
- 商品化するにあたり、コーディネートする方の連絡先を聞かれた
- 2次交通がない事をカバーするアクティビティ、サイクリングツアーの必要性
- 食事はほとんどが素材からハンドメイドであること、素材が良いので美味しいこと、日本的な食べ方（いただきますの意味等）を知り共感したこと等好評であった。
- W I F I が設置してあることに驚かれた
- ロシア、アメリカ、カナダのバイヤー（宿泊をしたバイヤー）が特に積極的

(山田家)

- 古民家ということもあり、建物そのものに関心が高かった。
- 食事にも大満足。日本滞在中で一番の料理との声も聞かれた。
- 環境が良かったので、ホテル宿泊を選んだが、民泊に変更したい（実際に変更）
- すぐにでも宿泊したい場合、通常は営業していないことを理解してもらうのが困難。
- いつでも宿泊できるような体制にしてほしいとの声も聞かれた。
- スリッパと土足の習慣が難しい。ただ慣れれば問題ないので、どんどん指摘してくれて良かった。
- 時間の流れがゆっくりに感じた。

(吉田家)

- 東南アジアのバイヤーからは、フルーツ狩りがしたいという意見があった。
- 遠野はポップの名産地であり、ビール工場など、その土地の名産に関わる製造所なども見たかった。
- （特に女性のバイヤーからは、）受け入れ家庭に何もかもやってもらっていることについて、気が引けてしまう（気を遣ってしまう）と言われた。家庭で、お子さんにお弁当を作ったり、家事などで忙しくしている中、お客さんの朝食やら何やらを至れり尽くせりで準備していただき、逆に気疲れしてしまった。
- 受け入れ家族と密着した時間は良かったのだが、自由行動の時間も欲しかった。近隣の散策などの時間が欲しかった。
- ホテルに宿泊したお客さんからは受け入れ家族の負担を考慮して、朝食はホテルでも良かったと言われた。

(3) ファムトリップ参加者へのアンケート調査結果

1) 調査の概要

1. 調査の目的

「トラベルマート2015」に参加した外国人バイヤーを対象に、岩手県遠野市へのファムトリップ(現地視察調査)を実施し、日本の農山村地域を訪問するツーリズム(ルーラル・ツーリズム)の受容性や可能性を調査する。
あわせてバイヤーの視点から、農山村の資源や受入体制について評価や課題等を聞き今後の取組の参考資料を得る。

2. 調査の実施概要

【調査実施日】 平成27年9月

【調査対象】 「トラベルマート2015」に参加した外国人バイヤーのうち、「北東北・道南コース」に参加し、遠野を訪問・滞在した30人

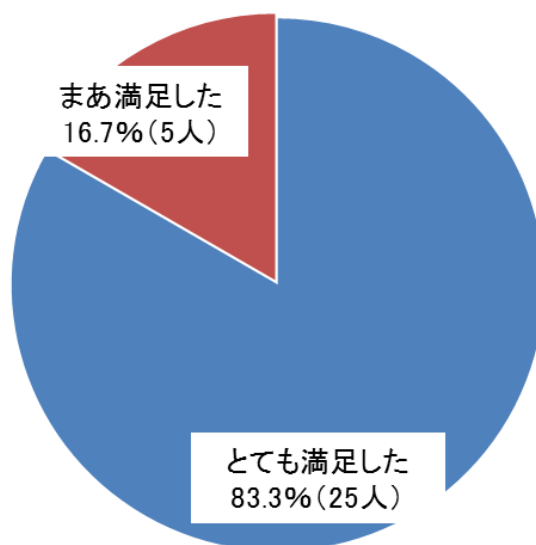
エリア		国名	回答者数
アジア圏	東アジア (10人)	中国	8人
		韓国	1人
		台湾	1人
	東南 アジア (10人)	フィリピン	4人
		マレーシア	2人
		タイ	3人
		インドネシア	1人
アジア圏合計			20人
欧米圏	北南米 (7人)	アメリカ	2人
		カナダ	4人
		ブラジル	1人
	欧州・オ セアニア (3人)	スペイン	1人
		ロシア	1人
		オーストラリア	1人
欧米圏合計			10人
回答者合計			30人

2) 調査結果

1. 遠野へのファムトリップの満足度

Q1. 遠野へのファムトリップは、全体として満足できるものでしたか。

- ・ファムトリップに対する満足度は非常に高く、30人全員が「満足した」と答えた。
- ・特に「とても満足した」が25人で8割以上を占めている。
- ・否定的に評価する参加者は1人もいなかった。



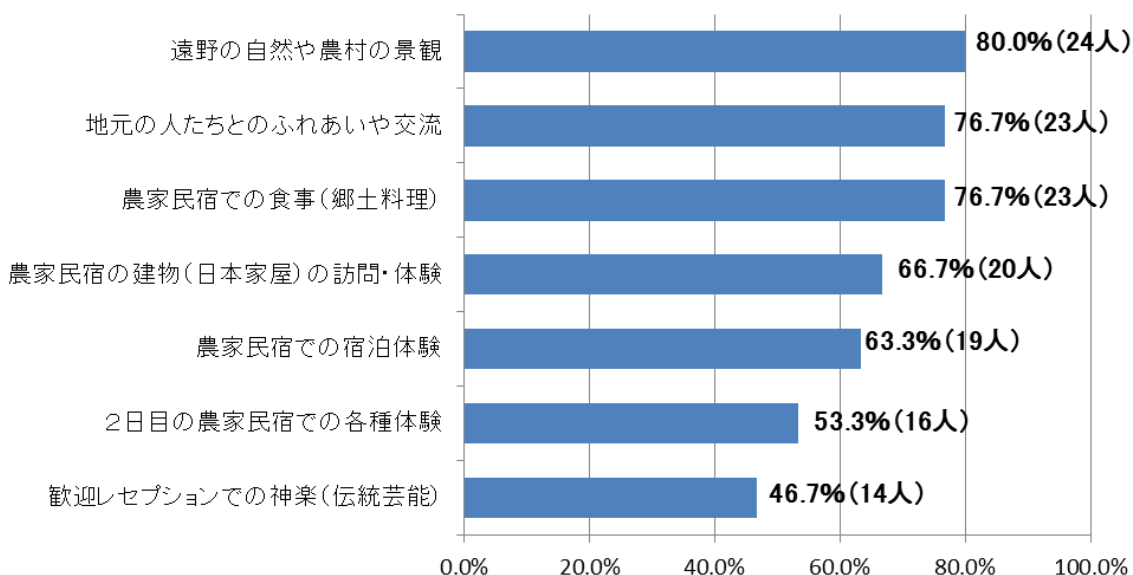
【エリア別回答状況】

- ・エリア別にみても満足度はいずれの圏域でも高く、大きな違いはない。

エリア	とても満足した	まあ満足した
アジア圏	80% (16人)	20% (4人)
欧米圏	90% (9人)	10% (1人)

2.遠野へのファムトリップで印象に残ったこと

- ・遠野へのファムトリップで最も魅力的に感じたこと・印象に残ったことは「遠野の自然や農村の景観」で参加者8割があげている。
- ・以下「地元の人たちとのふれあいや交流」「農家民宿での食事(郷土料理)」が差がなく続いており、特別な観光名所やイベントではない、普通の農山漁村の姿が評価されている。



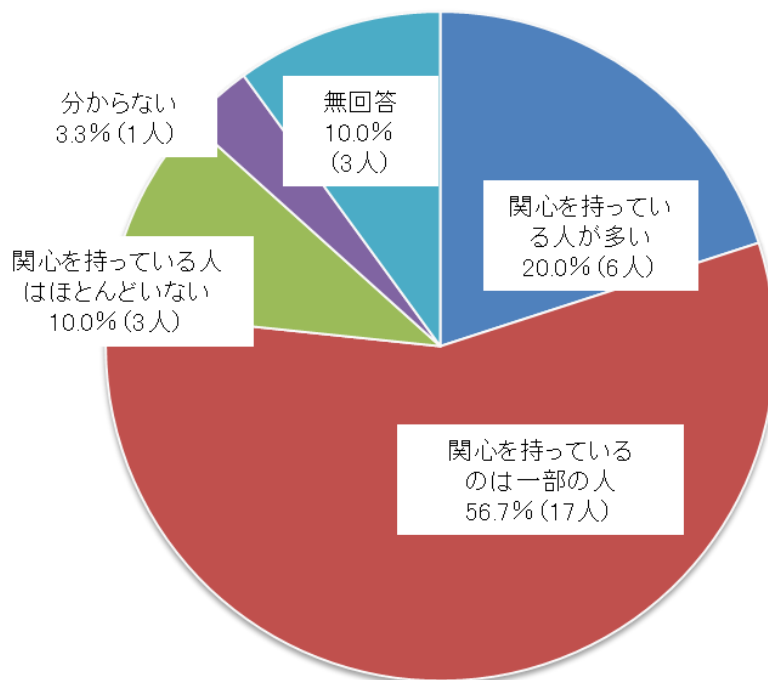
【エリア別回答状況】

- ・エリア別にみても上位の項目は似通っており、大きな違いはない。

順位	アジア圏	欧米圏
1位	遠野の自然や農村の景観(16人)	地元の人たちとのふれあいや交流 (9人)
2位	農家民宿での食事 (郷土料理) (15人)	遠野の自然や農村の景観 (8人)
3位	地元の人たちとのふれあいや交流 (14人)	農家民宿の建物(日本家屋)の訪問・体験(8人)
4位	農家民宿での宿泊体験 (13人)	農家民宿での食事(郷土料理)(8人)
5位	農家民宿の建物 (日本家屋) の訪問・体験(12人)	農家民宿での宿泊体験 (6人)
6位	2日目の農家民宿での各種体験 (11人)	歓迎レセプションでの神楽(伝統芸能) (5人)
7位	歓迎レセプションでの神楽 (伝統芸能) (9人)	2日目の農家民宿での各種体験 (5人)

3.日本のルーラル・ツーリズムへの関心

- ・パイヤーの母国で「日本でのルーラル・ツーリズム」に対して、「関心を持っている人が多い」が20%、「関心を持っているのは一部の人」が57%となった。
- ・関心をもつのはまだ一部にとどまっているようだが、両者を合わせると77% (23人)に達している。



【エリア別回答状況】

- ・エリア別にみても「関心を持っているのは一部の人」であり大きな差はない。
- ・欧米圏の方がやや関心を持つ人が多い傾向が読み取れる。

	関心を持っている人が多い	関心を持っているのは一部の人	関心を持っている人はほとんどいない	分からない	無回答
アジア圏	3人 (15%)	12人 (60%)	2人 (10%)	0人	3人 (15%)
欧米圏	3人 (30%)	5人 (50%)	1人 (10%)	1人 (10%)	—

【日本のルーラル・ツーリズムに関心持っている層】

SQ1 あなたの国で「日本のルーラル・ツーリズム」に関心を持っているのはどのような人たちですか？

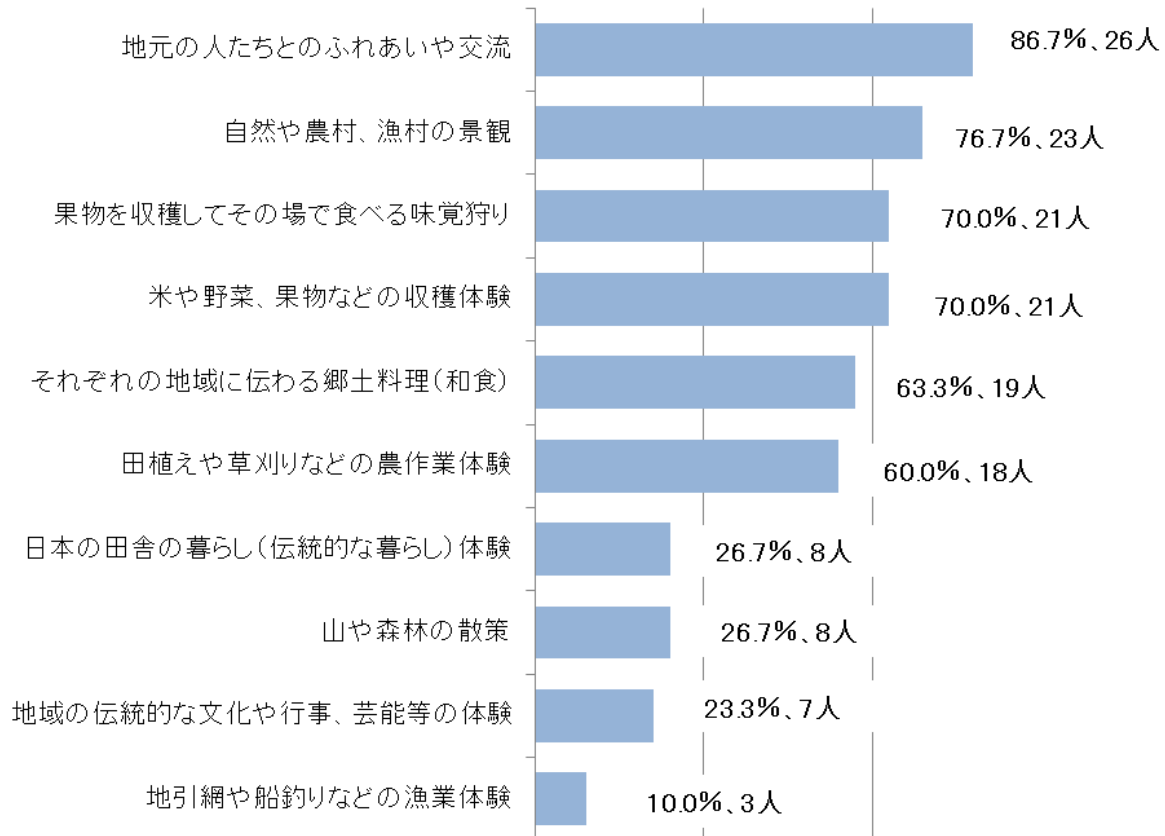
- ・バイヤーの母国で「日本でのルーラル・ツーリズム」に関心を持つ層を挙げてもらったところ、「日本旅行のリピーター」「都市生活者」「日本の伝統や文化に関心を持つ人」など、多彩な旅行者層があげられた。
- ・また「若者」「家族」「高齢者」が挙げられたほか、「バックパッカー」に対して「裕福な人」と相反する旅行者像があげられている。多種多様なFITがターゲットになると思われる。

中国	・日本旅行の経験者	・学生		
中国	・日本旅行の経験者	・学生		
中国	・若者、個人旅行客			
中国	・普段大都市で生活している人々は農村や郊外へ行きたい			
中国	・大都会の人	・日本文化に興味を持っている人		
中国	・自然に関心を持つ人たち			
中国	・家族	・学生		
韓国	・自然に関心を持つ人たち			
台湾	・日本旅行の経験者	・学生	・バックパッカー	
フィリピン	・生徒			
フィリピン	・以前日本に来たことのある人たち	・高齢者、裕福なひとたち	・自然に興味を持っている人たち	
フィリピン	・自然に興味がある人たち(生徒も)	・本来の日本の文化に興味がある人たち		
マレーシア	日本文化に興味があり日本周遊をしたい人たち			
マレーシア	・5～8名の家族	・学生	・バックパッカー	・インセンティブとして
タイ	・以前日本に来たことのある人たち	・自然に興味を持っている人たち		
タイ	・文化交流をしたい人たち	・リラックスをする時間が必要な人たち(特に都会で忙しく働いている人たち)		
タイ	・以前に何度か日本に来たことがある人たち	・新しい道を見つけたい人たち	・日本の伝統に興味がある人たち	
インドネシア	・60歳以上の人がリラックスしたり享受できそう	・以前に日本に来たことがある人もいい		
アメリカ	・普通の旅行とは違う事を体験したい冒険好きの旅行者	・若い人や自然が好きな人たち		
アメリカ	・贅沢な旅行ではなく本物を知るツアーを好む人たち			
アメリカ	・ファームステイに興味がある米国人やヨーロッパ人			
カナダ	・本当の日本を発見したい人たち			
カナダ	・会議のために日本に来たビジネスマン			
カナダ	・学生	・教育関係		
カナダ	・学生	・以前に日本に来たことがある人たち		
オーストラリア	・農村に興味がある人たち	・日本で田舎暮らしをしたことがある人たち		
ロシア	・以前日本に来たことがある人たち			
ブラジル	きちんとリサーチをしていないから分からないが、私は楽しめた。			

4.日本のルーラル・ツーリズムのセールスポイント

Q4.「日本のルーラル・ツーリズム」を商品化するとしたら、何をセールスポイントにしますか？
（複数回答）

・商品化する際のセールスポイントは多彩だが、全体的に文化体験よりも味覚狩りや収穫体験など、アクティビティやレジャー感覚の活動が上位に挙げられている。



【エリア別回答状況】

・エリア別にみても項目は似通っており、大きな違いはない。

順位	アジア圏	欧米圏
1位	地元の人たちとのふれあいや交流 (18人)	自然や農村、漁村の景観 (8人)
2位	自然や農村、漁村の景観 (15人)	それぞれの地域に伝わる郷土料理(和食)(8人)
3位	米や野菜、果物などの収穫体験 (15人)	地元の人たちとのふれあいや交流(8人)
4位	田植えや草刈りなどの農作業体験 (15人)	果物を収穫してその場で食べる味覚狩り(7人)
5位	果物を収穫してその場で食べる味覚狩り (14人)	米や野菜、果物などの収穫体験 (6人)
6位	それぞれの地域に伝わる郷土料理(和食) (11人)	田植えや草刈りなどの農作業体験(3人)
7位	山や森林の散策 (6人)	山や森林の散策 (2人)
8位	日本の田舎の暮らし(伝統的な暮らし)体験(6人)	田舎の暮らし(伝統的な暮らし)体験(2人)
9位	地域の伝統的な文化や行事、芸能等の体験(5人)	伝統的な文化や行事、芸能等の体験(2人)
10位	地引網や船釣りなどの漁業体験 (2人)	地引網や船釣りなどの漁業体験(1人)